

2025年度活動報告

中国地方海運組合連合会
青年部



主な活動内容

- ・定期的な会議
- ・各イベントに参加し、内航船の普及活動
- ・水産高校等での就職ガイダンス
- ・児童養護施設 体験乗船



▶広島県福山市に所在する児童養護施設「こぶし学園」「ルンビニ園」に入所する児童・生徒を対象として、弓削商船高専練習船「弓削丸」の協力を得て体験航海を実施。

▶中海連青年部から5名参加。

▶本事業を契機としてチャレンジ事業にエントリーした。

令和6年8月7日
練習船「弓削丸」を活用した
児童養護施設体験航海

2024年10月13日～14日 広島の海まるごと体験フェスタ

海と日本プロジェクトIn広島が主催、中海連などが協力した広島の海まるごと体験フェスタの「海で働くことを学ぶコーナー」にブース出展。

中海連青年部（中国船対協）ではいつもの鉄板ネタ「内航船クイズ」で全問正解者に駄菓子を配るという飛び道具を使って子どもたちを集め、バルーンアートやペーパークラフトをプレゼントする。





►呉市、広島大学などが提唱する「タウン&ガウン」構想の一環で開催された「くれ海博」にブース出展。

►呉市「大和広場」に多くの市民が来場し、内航海運・内航船員に関する広報活動を実施。

2024年11月10日
「くれ海博」ブース出展

2024年12月6日 マイナビニュース取材

私たちの仕事は船で日本を支えています。船が止まると日本の物流が止まるといっても過言ではありません。そういう意味で、内航海運業界は、社会貢献度のとても高い仕事です。そこをやりがいに感じてもらえたならうれしいですね。現在就職や転職で悩んでいる方の中で、趣味の多い人、まとまった休みがあれば何をしたいか具体的に言える人、クルマを買いたい・海外旅行に行きたいなどの目標がある人は『海の仕事』が合っていると思います。まずは業界に興味を持ってもらい、選択肢のひとつに加えてもらえたたら。繰り返しになりますが、30代からの転職でも間に合う業界です！ みなさんのエントリーを心よりお待ちしています。（渡邊委員長まとめ）



渡邊 和寛氏

中海連 青年部委員長



西本 直人氏

中海連 青年部副委員長



岡本 将治氏

中海連 青年部副委員長



岡峰 洋之介氏

中海連 副会長



吉岡 裕一郎氏

中海連 青年部副委員長



▶毎年、中国運輸局と協同して、浜田水産高校に内航海運ガイダンスとして訪問し、多くの内航船員を輩出いただいている。

▶例年3月中旬に実施しているが、令和5年度、令和6年度の2年連続で積雪のため高速道路の冬タイヤ規制に阻まれ、別便で前乗りしていた専務理事が急遽プレゼンの代役を務めた。

▶ 浜田へ行くことができなかつた青年部メンバーは急遽船社の事務所に集合、学校とリモートでつなぎWEBでのコミュニケーションを図ることとなつた。

令和7年3月17日
浜田水産高校ガイダンス事業

2025年6月16日～17日 隱岐水産高校ガイダンス事業

中海連青年部4名が隱岐水産高等学校訪問

海洋システム科授業の社会人枠（2限）を提供いただき、内航海運事業と内航船員に関するプレゼンを実施。毎年の恒例行事となっており、学校からも感謝され、境港の就職セミナーに繋がっている





▶ 尾道市向島に所在する向島ドック(株)は、子どもたちを中心に海への関心や好奇心を育み、海の環境問題の解決に向けたアクションの輪を広げていくとともに、造船関連事業が海事都市・尾道の地場産業として果たす重要な役割を、地域に改めて認識してもらうことを目的として、「造船所まつり」を開催している。

- ▶ 向島ドック(株)自身も内航海運事業者であり、中海連青年部にブース出展の案内があったもの。
- ▶ 中海連青年部の鉄板ネタである「内航船クイズ」「バルーンアート」をコンテンツにして、多数の来場者に内航海運を訴求。

令和7年7月26日 向島ドック(株)造船所まつり



今後の活動予定

チャレンジ事業

11月1日

児童養護施設体験乗船
IN 弓削島

ご清聴ありがとうございました

